



## ●日本における社会システム分析●

- 第11回 日時：1月31日(土)13:30~17:00 場所：統計研究会議室 出席者：17名 議題：「社会システムと女性」特集

- (1) 都市化時代における社会システムと女性の役割  
(地方自治研究資料センター 加藤富子)
- (2) 企業における女子社員の役割  
(東京電力 雨宮幸雄)
- (3) 適性検査の結果に基づく女性の強弱要因の分析  
(小島光造)

最近女性問題が急速にクローズアップされてきた感じもたれるが、観念的主観的論争が多く、システムティックなアプローチがきわめて少ない。本部会においては時間不足のため十分な詰めができなかったが、問題の所在が明らかとなり、またその問題にとりくむ場合の糸口になるものが得られたのは大きな収穫であった。

## ●予測とその周辺課題●

- 第9回 日時：2月27日(金) 18:00~20:00 場所：学会センタービル会議室 出席者：8名 内容：GESとその周辺問題について 守谷栄一(神奈川大学) 一般の需要系列を適合関数の線形結合で表わし、その最適な係数の一般式、その検定方法等の理論を展開。
- 第10回 日時：3月20日(金) 18:00~20:00 場所：早大システム研 出席者：8名 テーマ：(1) GESとコロログラムによる最適予測モデル(小型四輪車登録台数の当てはめ例) (2) GMDH(発展的自己解析法)の紹介、講師：(1) 守谷栄一(神奈川大学) (2) 石鍋雅夫(東洋製缶研)

## ●創造性開発の数学モデルと Computer Based Design●

- 第8~10回 日時：55年12月18日, 56年1月21日, 2月18日 場所：22森ビル303号室, 参加者14名(各回とも) テーマ：小グループ研究成果報告および学会誌特集号原稿内容討議 司会：池沢茂樹氏(東洋信託) 研究部会員が次のテーマの小グループに分れて個々に会合を開き、それらの成果を月例会で報告した。さらに

それらを表題の原稿案として全員で討議した。

- (1) 創造の歴史・史観 (2) 創造関連用語の定義
- (3) 創造のモデル案1, 案2 (4) CBDのビジョン

## ●経営コンサルタント●

- 第11回 日時：2月7日(土) 14:00~17:00 場所：八丁堀の東京都勤労福祉会館 出席者：11名, 藤川博巳氏(三井情報開発株式会社・社会システム事業本部・ナレッジ工学研究所)「オフィス・オートメーションの課題」

O・Aの最近の状況と問題点、そして将来の展望について発表された。

- 第12回 日時：3月7日(土) 14:00~17:00 場所：勤労福祉会館 参加者：10名 テーマ：経営における日本的意思決定について 講師：樋爪 徹氏(山之内製薬)

上記テーマで、歴史的展望、学者や実務家による諸説や実践について氏が論述され、さらに、これからの問題点と対処の方策について蘊蓄を傾けられた。

## ●政策問題●

- 1月例会 日時：1月17日(土)14:00~17:30 場所：三菱総研(タイムライフビル)4階会議室 出席者：10名

1. 武田靖彦(防衛庁)“パターン認識について”

郵便番号分類システムや漢字認識システムをとりあげ、光電素子と脳の認識素子との相似性、および判別に関する図表の量子化の実験成果を論じた。

2. 樋爪 徹(山之内製薬) 日本的経営の比較

日本的経営の特色を論じている津田教授(一橋大)、アベグレン(ボストン・コンサルティング)、間教授(早稲田大)、岩田教授(武蔵大)、占部教授(神戸大)の説を紹介しこれについて所見を述べた。

- 2月例会 日時：2月28日(土)14:00~17:00 場所：三菱総研(タイムライフビル)会議室 出席者：10名 講師：柴田祐作(日立製作所, システム研究所)

小岩 明(社会環境システム研究所)

粕谷一郎(電通PRセンター)

議題：“SINPLの反省”

56年度OR学会春季発表会に政策問題研究部会の名前でSINPLを報告するが、これに関連して、合宿研修の反省、手法の長所および短所、何を伝えるべきかを討議した。この件についてLENS法の実務経験者(プロデューサー)である粕谷氏も特別出席し、演出サイドからの合議方式による意見の統合に有益な知見を述べた。